親子アンケート特集

新型コロナ・学校生活・親子関係…
生徒・保護者に聞きました。

　昨年末に発生した「新型コロナウイルス感染症」は今年に入って猛威を振い、感染症対策のため3月末から5月中旬まで学校が臨時休業するという前例のない異常事態となりました。広報委員会ではこの休業期間に生徒・保護者が何を思い、何を考え、どう過ごしていたかを調査しました。

　その他にも学校生活の不安・不満、親子関係などについても併せてアンケートを行いました。子どもと親の考え方や価値観の違いがとても興味深いものとなりました。このアンケート結果を是非ご家庭でお子さまと一緒にご覧になって、今後のコロナ対策や学校生活の向上になって頂ければ幸いです。

Coronavirus

1 新型コロナウイルス感染症について

Q1 緊急事態宣言の発出以降、外出自粛要請による巣ごもり生活を強いられたことで私たちの日常も変化しましたが、家庭内で大きく変わったことは何ですか？（複数回答有り）

保護者

生活リズムのくずれ	12票
健康面に気をつけるようになった	7票
手伝いをするようになった	4票
ゲームの時間が増えた	3票

生徒

生活リズムのくずれ	12票
手伝いをするようになった	8票
けんかが多くなった	6票
家での会話が多くなった	4票

その他の意見

生徒

- 友人と会う時に親の許可をもらわなくてはならなくなった。
- ゆっくり休むことができ、家族との時間が増えてよかった。しかし、離れて過ごしている姉と会えなくなったり、旅行などができなくなったりが残念だった。
- **昼夜逆転の生活をしてしまった。**
- ずっと家の中で過ごすから家族のみんなと一緒に入れることが増えて良かった所もあるけど、友達と遊ぶ機会が極端に減って楽しみが減った。
- 出歩くことが減ってずっと家の中にいるので無気力になった。
- 親のストレスが増えた。
- **「生きる」ことについて考えていた。**
- ゲームをするより筋トレをした方がいいと気づいた。

保護者

- 自習期間が長く、ストレスがたまっていたようです。本人も外でなるべく少人数（2~3人）で活動するよう心がけていたようです。
- 感染予防について再確認や食事について見直すきっかけとなった。
- 祖父母と食事の時間をずらした。毎日、コロナ・感染状況を確認するようになった。
- 子どもたちにとっては部活動の大会がなくなるなど思いがけない出来事だったと思いますが、親としては子と過ごす時間が増えて良かったと思っています。
- **子どものほうがコロナに対し意識が高いことにビックリしました。**
- 家族での会話が増えた一方で、それぞれがスマホの使用時間（動画視聴、子供は友人と通話等）が増えた。

Q2 新しい生活様式のもと、やりたくても今はまだ我慢をしていることもたくさんあると思います。今後、新型コロナウイルスの感染拡大が終息したら、やりたいことや計画していることはありますか？（「ある」と答えた生徒、保護者のみ　複数回答有り）

保護者

県外への旅行	12票
家族旅行	8票
県外の親戚に会う墓参り	7票
スポーツ観戦	7票

生徒

県外への旅行	15票
友だちと遊びに行く＆旅行	8票
旅行	5票
映画を見に行く	3票

その他の意見

生徒

- 卒業旅行に行きたい。
- 県外にいる兄のところへ遊びに行く。
- 友達とあるいは家族と色々なところに遊びに行きたい。
- 友達とディズニーに行きたい、旅行したい。
- 部活の強化合宿。
- 親せきの人たちと集まって忘年会的な物をする。
- **好きなアイドルのライブに行きたい。**
- ゲーセンに行く
- 本屋で読みたい本を中古or新品でまとめ買い。
- **ゲームの大会に行く！みにいくやりに行く！**
- 夏祭りに行く。
- カラオケに行きたい。
- 留学。
- キャンプの友達と遊ぶ！

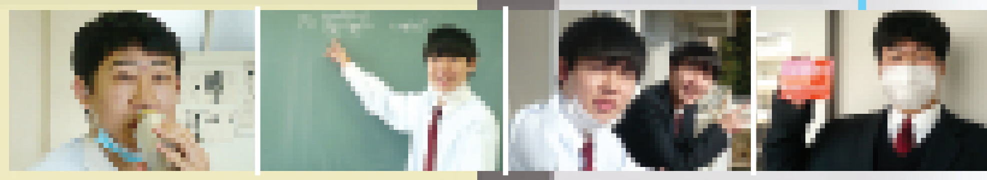
保護者

- 何も心配することなく（気にすることなく）晴れやかな気持ちで遠出（家族旅行）。
- 家族で温泉に行きたいです。
- 国内旅行、実家帰省（群馬県）。
- **新型コロナウイルスが終息する頃には既に卒業しているだろう。卒業を機に、家から巣立つ前に旅行をする。**
- 子供と映画を見に行く。
- 子供の部活観戦。
- 計画ではないですが、今まで通りのイベント（お祭りや学校行事）が行われる事。
- 遠方へ墓参り。
- **マスクをつけないで外出したい。**
- 気軽に友達と会って遊ぶ。
- 家族とどこか遠出したい。
- ライブ、コンサート等に行きたい。

　突如発生してしまったコロナウイルスの影響は、学校生活や家庭においてさまざまな影響を及ぼしました。

　問1の質問で親子ともに最も多い意見が「生活リズムのくずれ」でした。学校が休業とはいえ気軽に外出も出来ず、生徒もかなりのストレスが溜まっていたと思います。

　しかしこのような100年に一度のような災禍を経験したことで、普段の生活にさまざまな変化が表れたのではないでしょうか？普段から健康に気を使い、感染症対策についての知識を身につけたことと思います。自分の身を守るための行動をこれからも継続させて、一日も早くコロナ流行の終息を願いましょう。



Q3 新型コロナウイルスの感染拡大により、どのようなことに対して不満やストレスを感じていますか？

生徒

- 学校が休校になったり、移動や行動が制限されること。
- 遠くへ気軽に行けないこと（公共交通機関の利用に抵抗がある）。
- 買い物や遊びに出かけにくくなった。
- ストレス発散のためにも遊びにいきたいが、制限されていてすごくつらい。
- 修学旅行の内容がつまらなくなった。
- 夏休みが短くなった。
- 気軽に出歩けない。常にコロナ対策をしていないといけない。
- 具合が悪くなった時に、コロナなのかなと心配する時がある。
- **感染するのかと常に心配している。**
- リモートなどの機会に頼ってしまう時代実際に会って話すことの大切さも忘れないでほしい。
- 大学の授業がどのくらいオンラインになるのか、大学のイベントは開催できるのか。

保護者

- 感染者が近くにいるのではないかと心配。
- 仕事柄、外出中に感染するかと慎重なる行動、不要不急の外出を控える。
- 感染のリスクを感じながら仕事をする事。
- **外出の制限、感染に対する不安、それに対してストレスがたまった家族の対応。**
- 外出先の制限や人込み等に気を付ける為、行動範囲がどこまで行っていいかわからずストレスを感じた。外食も行けるようになったがいつどこで感染するか心配である。
- 近場の外出でも常に気を張って（緊張状態）出かけ、帰ってもお互いにウイルス持ち帰ってきてないかと疑い合う。
- **年中マスクはストレスです。感染は心配です。**
- 買い物に行くとき感染するのではないかと心配は常にあった

国語科
門馬　克宗 先生

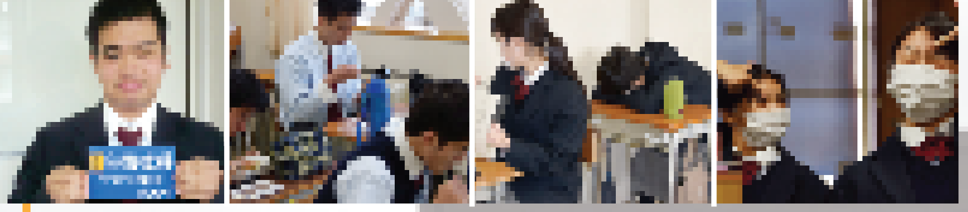
　新年度当初、1か月以上にわたって休校が続きました。特に私は今年度転勤してきたばかりだったので、川俣高校のことも、オンライン学習での教材準備のことも、よく分からないままにスタートを切った記憶があります。

　アンケートに書かれた言葉を拾うと、「生活リズムが乱れた」「友達と会えなくなった」「ほぼニートだった」「マスクがうっとうしい」など、とても共感できますし、一方で、「部屋がきれいになった」「筋トレをしていた」「進路など将来について考えていた」などは、その前向きさに敬服いたします。

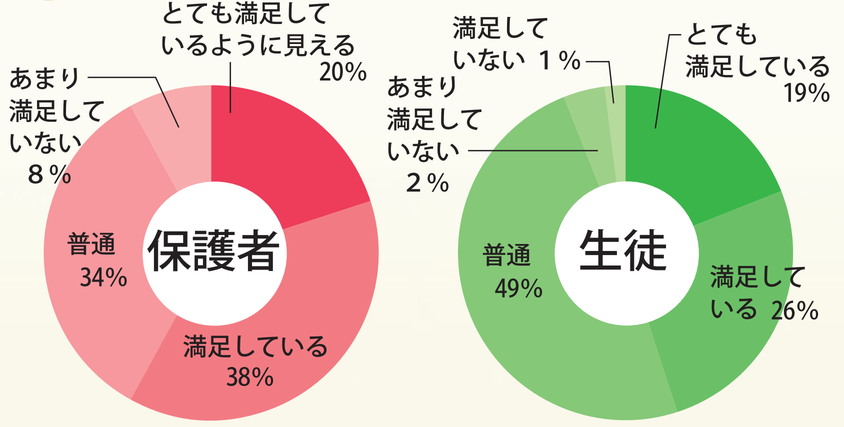
　一つ言えるのは、震災、自然災害、コロナ禍と、絶望するような出来事が近年、相次ぐのですが、必ずどこかに前向きなパワーが生まれ、チャンスや希望が出てくるということです。そんな「生きる力」も、今回のアンケートから感じることができました。

School life

2 学校生活について



Q1 生　徒→学校生活の満足度をお答えください。保護者→お子さまの学校生活に対して満足度をお答えください。



理　由

生徒

満足している

- 充実した学校生活を送ることができている。
- 友達と話して笑い合ったり、協力して勉強したりするのが楽しいから。
- クラス一丸となって授業などでも教え合いなどができているから。
- 友人関係のいざこざが少し緩和された。
- **友人や先生方が親身に相談に乗って下さるから。**
- 不満に思うことが無いから。
- 友達とすぐ会える、勉強がわかりやすい。

普　通

- 校則が少しめんどくさいけど、特に困っていることはない。

あまり満足していない

- なんとなく。

保護者

満足しているように見える

- 不満を口にしないし、学校でのことを話してくれます。クラスメートや先生のこと、楽しそうです。
- 専門科目の勉強や部活を頑張りつつ、友達と楽しく過ごしているようだ。
- **友達とのエピソードを楽しそうに話すことが多い。**
- 学校をやめたいと言ってたことがあったけど、部活を頑張ってる姿が増えて良かったです。

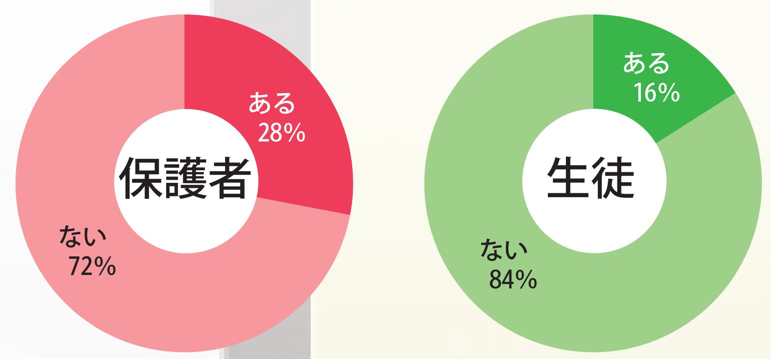
普　通

- 今年はたくさんの我慢が必要となり、子供たちも何らかのストレスはあると思います。

あまり満足していないように見える

- 人数が少ないため友人関係など。授業が分かりずらいようだ。楽しみがないようだ。

Q2 生　徒→学校生活において不安はありますか？保護者→お子さまの学校生活に対して不安はありますか？



「ある」と答えた方へその理由

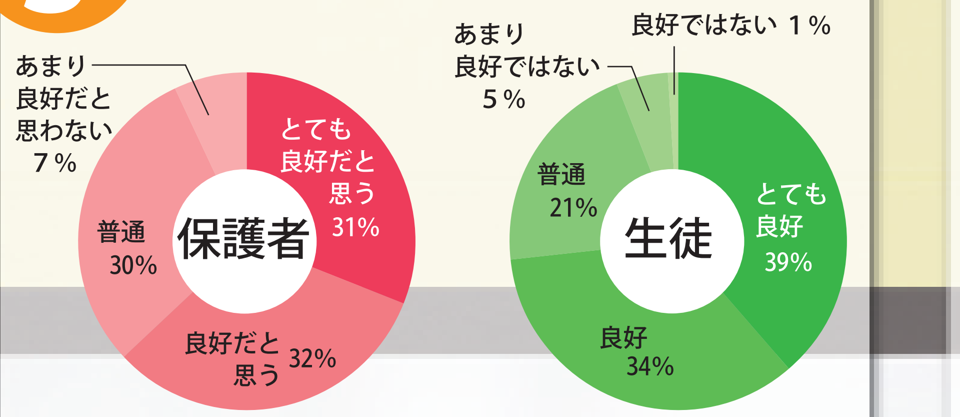
生徒

- 勉強のこと。
- 一人でいることが増え、行動一つ一つが合っているか不安にある。
- 進路が難しく、自分自身に対する不安が大きい。
- クラスの中心核に人にいじめられるんじゃないかと思う（自分が）。
- **成績悪くて留年しないか不安。**
- 進路がなかなか決まらない。やりたいことが見つからない。
- **人間関係が難しい。**
- クラスの人とうまく話せない、仲良くできない。
- 変な噂を立てられたので広まらないか不安。
- 授業の内容をしっかりと理解できるかということ。
- 友人関係のこと。

保護者

- クラスメートとうまくやっているか。
- 学校での出来事を全く話してくれない。
- コロナの影響による、就職先の募集があるか？業績等？
- 成績が低下したこと。
- 成績が上がらず進級できるか心配です。
- 学校での出来事でいやだった事だけを話すようになった。
- **人間関係で困っていることがあるようだ。**
- 家での会話が全くない。
- 成績が上がらず進級できるのか心配です。
- 部活がうまくいっていない。本人にも悪いところはあると思うが、他にもあると思われます。

問3 生　徒→学校での人間関係は良好ですか？保護者→お子さまの学校における人間関係は良好だと思いますか？



理　由

生徒

良　好

- 友達と仲が良いから・1年生の時よりも話せる人が増えたから。
- **学校来るたびに笑い合える友達がいる。**
- 友達ともケンカはするが、本音を言い合えて仲良くしている。
- 気楽に話せる先輩（普通にタメ口で話している）がいるから。

普　通

- **いつ仲が悪くなるかわからないから。**
- 仲はとても良いけど、微妙な所がちょっとある。

あまり良好ではない

- 人に気割られている気がする。クラスメイトだけでなく先生からなどにも。
- 他人の言動に振り回されてつかれる。あまり人と関わりたくない。
- いろいろあるんです。

保護者

良好だと思う

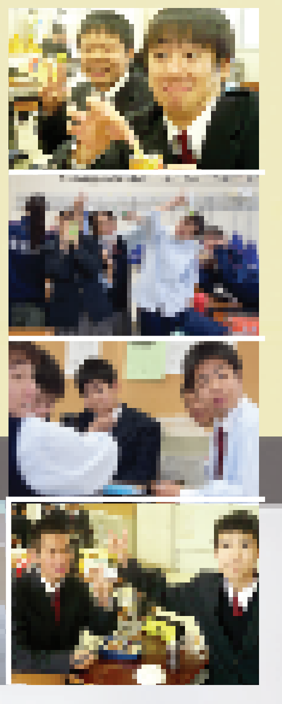
- 友人とのことについて時々話してくれたり、帰り委も一緒だったり迎えを待つ間も一緒にいるようだから。
- **学校生活での出来事を家で話したり、友達と遊びに行ったりしている。**
- 学校での出来事を話してくれることはあまりないですが、ゲームなどで楽しく友達を遊ぶ姿を見ているので良好かと思う。

普　通

- **いつもと変わらないから。**
- コミュニケーションが苦手なので心配です。
- 上手くやっているのだろうと思うが、イジメたりイジメられたりしてないかだけが心配です。

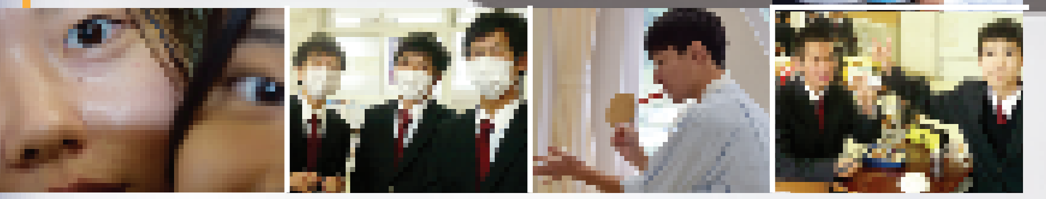
あまり良好ではないと思う

- ある友達とうまくいっていない。



　全ての質問に対して、川高生の学校生活は概ね「良好」ということがわかりました。たった3年間しかない高校生活を存分に楽しんで、清々しい気持ちで社会に出て行ってほしいと思います。

　しかし一部には学校生活や人間関係で悩んでいる生徒がいることがわかりました。人間関係というものは大人になってからも一生ついてまわる悩みの元です。人は十人十色、いろいろな考え方をする人が秩序を守り社会は成り立っています。悩んでいる生徒には、社会に出てからさまざまな経験をする「訓練」として、常に相手の気持ちを考え、理解して行動することを考えながら成長してほしいと願います。



国語科
武藤　理恵 先生

　学校生活に対する不安・不満について、このようなアンケートを実施すれば、子供たちからは不安と不満がとめどなく噴出してくるのではないかと予想していました。思春期~青年期にかけての若者にとって、不安や不満はつきもの。うまくいかないことと向き合い、のたうち回ることでしか成長できない部分もあり、日常生活に転がっている小さなつまずきは、大人になるためになくてはならないステップの一つです。

　しかし、ふたを開けみると予想に反する結果となりました。学校生活の満足度や不安に対しては、良好であると回答した数が否定的な回答を大きく上回っていました。いい事ばかりではないけど、悪い事ばかりでもない。そんな風に自分の気持ちや周囲の状況とうまく折り合いをつけながら学校生活を送ろうとしている生徒が多いのかもしれません。一方、記述式の回答を一つひとつ見ていくと、自力ではどうにもならないような不安や不満を抱えている生徒も中にはいることが気になりました。巨大な壁のように目の前に立ちはだかっている不安や悩みは、小分けにすることで解決の糸口が見えてくることもあります。それぞれが持つ課題を一つずつ乗り越えていけるように学校生活上で適切なサポートを継続していきたいと思います

　保護者と生徒のアンケート結果を比較すると、親御さんが感じている不安の方が大きいことがわかりました。特にお子様の進路に関して強い不安をお持ちのようです。難しい年頃の子供と接し、さらにコロナ禍という先行き不透明な現在の状況では、未来のことを案ずるほどに不安は増すばかりだと思います。このような状況において、情報不足が不安を膨らませる要因となりますので、学校側からご家庭への必要な進路情報等の提供にも努めたいと思います。